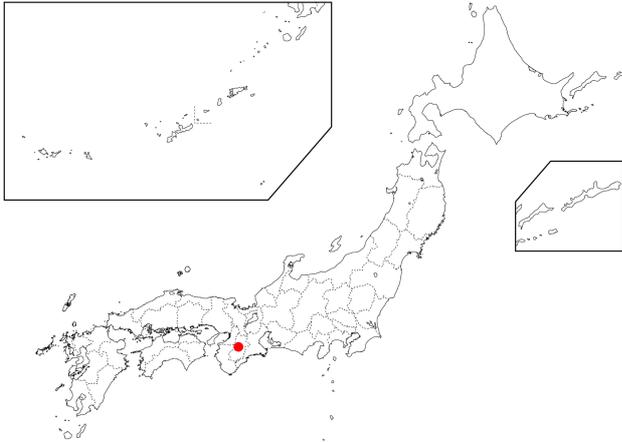
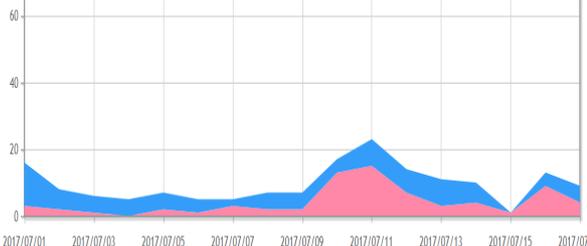


感染性胃腸炎の流行感知に関する報告（概略）

<p>担当者</p>	<p>竹内 瞭</p>
<p>疾患名（原因ウイルス）^{注1)}</p>	<p>感染性胃腸炎（ノロウイルス）</p>
<p>都道府県（罹患者数）</p>	 <p>奈良県（18人）</p>
<p>疾患の発生状況</p>	
<p>産経ニュース（2017年7月16日報道）</p>  <p>奈良のすし屋で食中毒、ノロウイルスが原因か 男女18人が下痢や嘔吐</p> <p>2017.07.16 09:59</p> <p>奈良市産経ビル15日、同市三郷大塚のすし屋「[伊丹前田南蔵]奈良大高店」で8日に発生した6～72歳の男女18人が下痢や嘔吐（吐き）などの食中毒症状を訴え、うち7人と店の従業員1人の腸からノロウイルスが検出されたと発表された。全県規模で、発生に当たっているという。</p> <p><< 下に続く >></p> <p>広告が Google により終了しました。</p> <p>この広告の表示を中止</p> <p>Ads by Google</p> <p>同発症者は同日が検出された寿司屋など複数の食中毒と関連、同日を15日から2日間の営業休止とした。</p> <p>2017年7月8日に、感染性胃腸炎について18人規模の流行が見られた。</p>	<p>つぶやきくん(IG)による検出状況</p> <p>下図は奈良県での「悪心」に関するつぶやきの総数（赤は陽性、青は陰性）を示す。</p>  <p>ノロウイルスの潜伏期間は1, 2日といわれており、今回の件ではつぶやき数は9～10日に増加すると思われる。サーベイランスシステムは9日のつぶやき数と比較し、10～11日には6～7倍のつぶやき数を検出した。</p>

西暦 2017年 7月 18日

奈良先端科学技術大学院大学
ソーシャル・コンピューティング研究室

感染性胃腸炎の流行感知に関する報告（詳細）

記

担当者	竹内 瞭		
疾患名	感染性胃腸炎		
疾患の概略	典型的な症状としては下痢、吐き気、嘔吐、腹痛があり、脱水により重症化する場合もある。		
原因ウイルス	ノロウイルス	発生都道府県(罹患患者数)	奈良県(18名)
疾患の発生状況	7/8(土)にノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生し、18人が罹患した。		
流行感知の状況	本件の感染性胃腸炎に関して、サーベイランスシステムはつぶやきの増加により流行を検出することができた。		
つぶやきの増加期間	2017/7/9 ~ 2017/7/11		
詳細な経緯	奈良市保健所は15日、同市三条大路のすし屋「江戸前回転鮨弥一奈良大宮店」で8日に食事をした6~72歳の男女18人が下痢や嘔吐(おうと)などの食中毒症状を訴え、うち7人と店の従業員1人の便からノロウイルスが検出されたと発表した。全員軽症で、快方に向かっているという。同保健所は同店が提供した寿司などが原因の食中毒と断定、同店を15日から2日間の営業停止処分にした。		